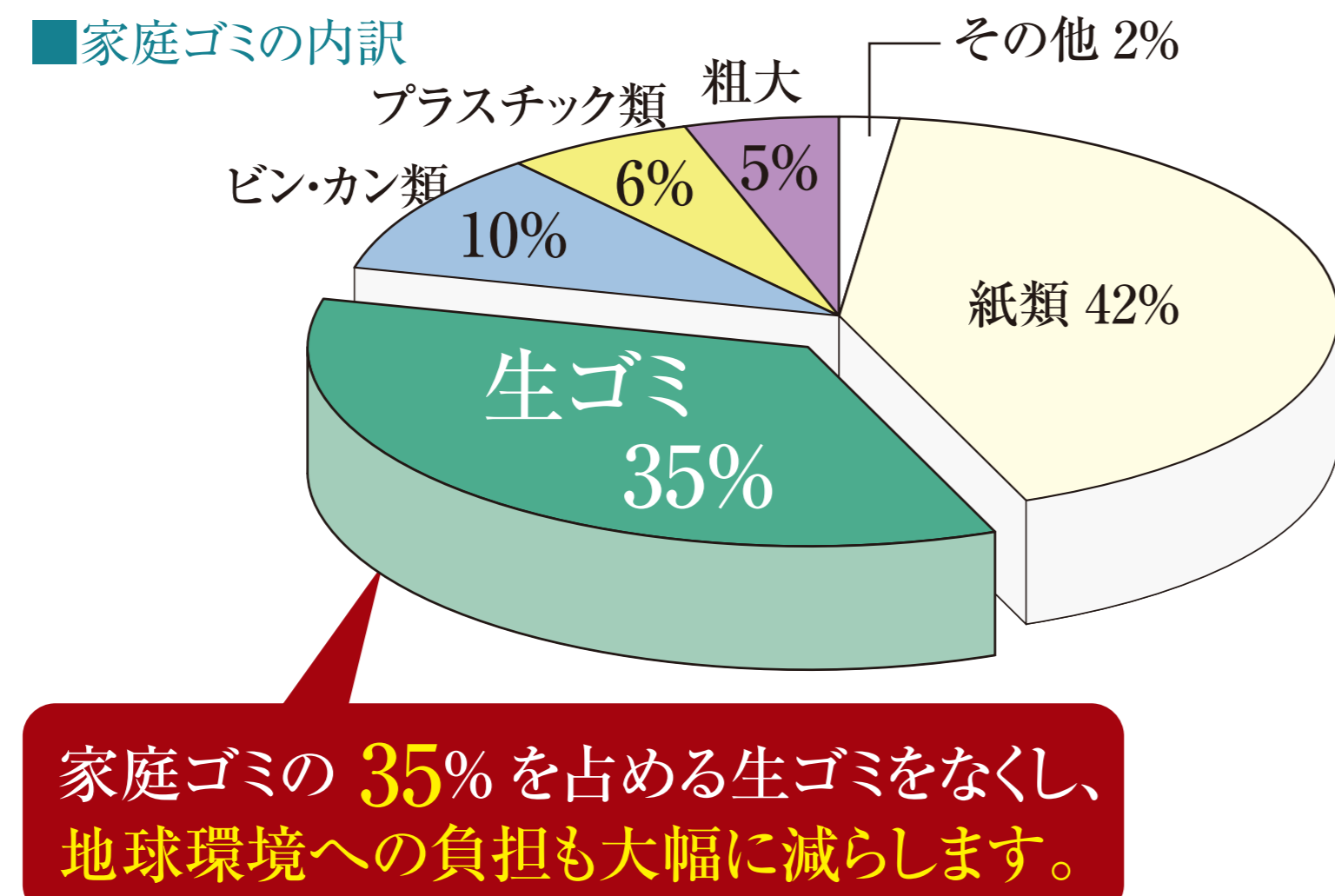


## 生ゴミ処理システム「ディスポーザ」

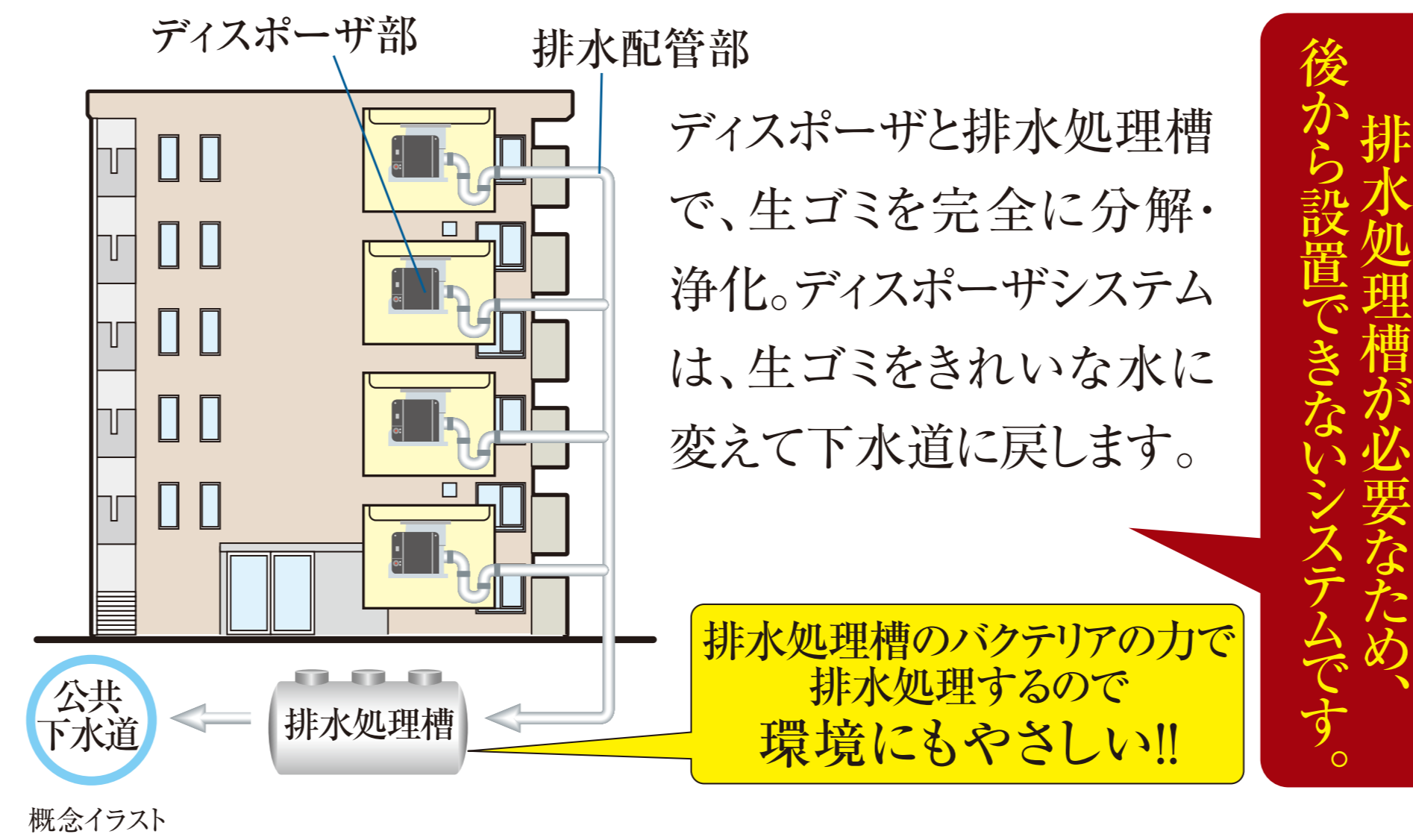


イメージ写真

### ディスポーザシステムの価値



### ディスポーザシステムの仕組み



### ディスポーザのここがメリット!

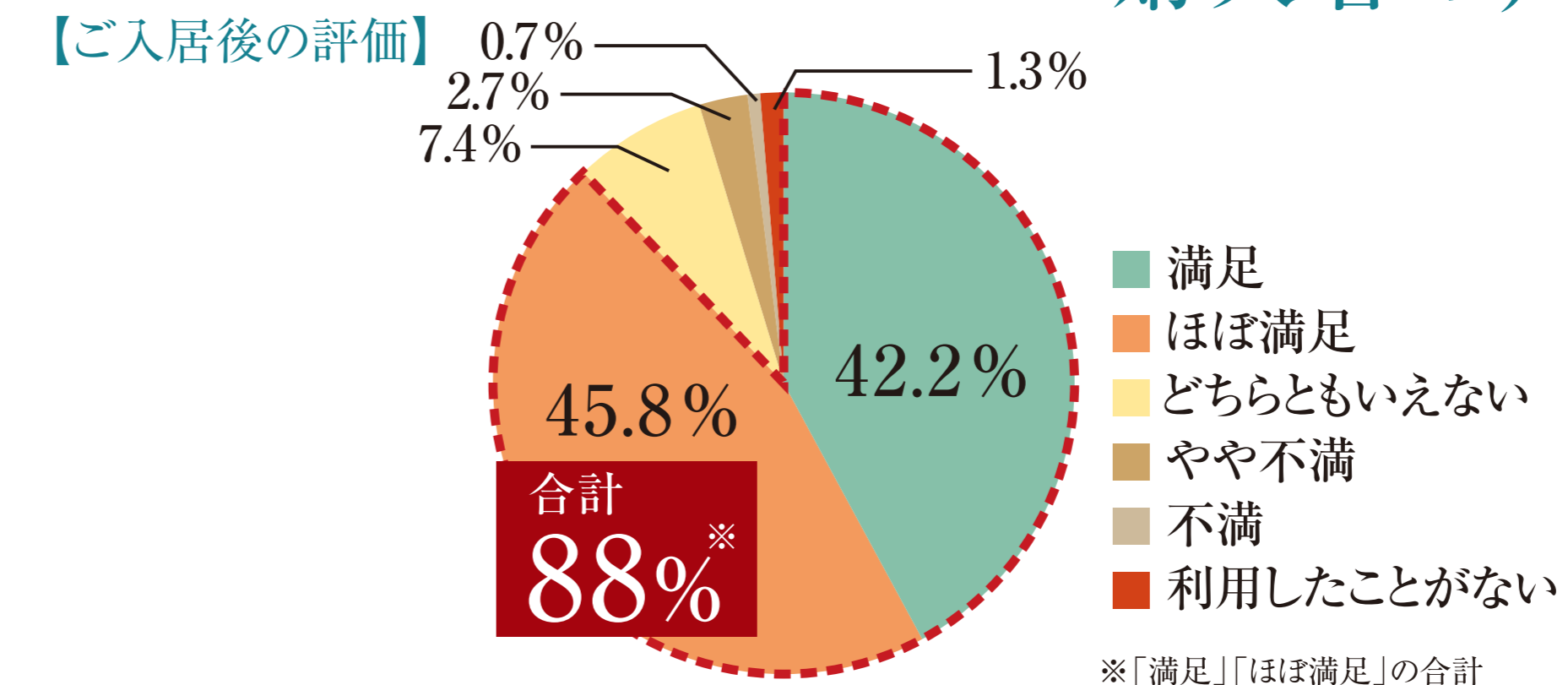
- 1 生ゴミが減る**  
家庭ゴミの約**1/3**が生ゴミです。
- 2 いつも清潔なキッチン**  
スペースが広く使えて**スッキリ**します。  
三角コーナー不要
- 3 地球に優しいエコ仕様**  
90%水分の生ゴミをディスポーザ処理  
ゴミ処理場での**ダイオキシン発生が減少**
- 4 ゴミ出しが快適**  
ゴミ袋を持ってエレベーターに乗る際も快適。

概念イラスト

### カンタン操作で、すばやく処理!

- ①生ゴミを入れます。
- ②水を流します
- ③フタスイッチをON
- ④フタスイッチをOFF
- ⑤水をとめます

### ご購入者の声



入居後の評価  
「ほぼ満足」以上が  
**88%**

※株式会社長谷工アーベスト入居者アンケートより アンケート対象者:長谷工アーベスト販売提携物件に2010年にご入居された方/実施期間:2011年1月21日~2月13日

### 静音

低騒音・低振動構造のため、作動音は日常会話レベル

低騒音

×

低振動

ディスポーザの生ゴミ粉碎時の作動音は、低騒音・低振動構造の機種であれば、騒音の発生が抑えられ、安全フタスイッチの防音効果と合わせ、優れた静音性を確保。「69デシベル」という数字は、日常会話レベルの音量となり、上下左右の隣接住戸等に迷惑をかける心配もありません。

※上記の作動音は騒音測定室にてキッチンキャビネットにディスポーザを設置し稼働時の発生音を測定。  
※発生音はディスポーザの中心位置を基点としてシステムキッチン前方1m.床上1.2mで測定。  
※粉碎した生ごみは、「下水道のためのディスポーザ排水処理システム性能基準(案)(日本下水道協会)」で規定された標準生ごみ250gを使用。

### CO2削減

地球温暖化にも効果的なエコロジーシステム

132戸のディスポーザは約757本のブナ的能力に匹敵

ディスポーザ排水処理システムの導入により、現状のごみ収集・焼却システムと比較して、

**CO2排出量を約21%削減可能**



80.3kg/戸・年×132戸  
= **10,599kg/年**

10,599kg/年÷14kg/年・本  
= **757本**

(100戸当たりの集合住宅全体のCO2削減算出例) 80.3kg/戸・年×100戸=8,030kg/年  
(ブナの木1本当たりのCO2吸収能力算出例) 約14kg/年×8,030kg/年=14kg/年・本=573本

### コストパフォーマンス

月々のランニングコスト

1日3回使用した場合のランニングコストは?

1回あたりの  
使用水量は、約4L!! **約96円/月** ※1

+

電気代1回あたりの  
使用電力は、1.56Wh!! **約3円/月** ※2

||

**合計約99円/月**

【算出条件】●1回あたりの電力量:1.56Wh(標準生ごみ粉碎時) ●1回あたりの給水時間:30秒(標準生ごみ粉碎時間(20秒)+前後5秒間)  
●使用回数:1日3回、30日/月 ●電気代:0.022円/Wh ●水道代:0.265円/L  
●電気代、水道代は使用方法、生ごみによって変わります。 ※「下水道のためのディスポーザ排水処理システム性能基準(案) 社団法人日本下水道協会」に規定された標準生ごみ※1:8(L/分)×30/60(秒/分)×3(回/日)×0.265(円/L) ※2:3(回/日)×30(H/月)×0.034(円/Wh)